

教育目標：自立 敬愛 精励

用賀中だより

ようがの学び舎 舎訓 責任 信頼 誇り
～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより 11月号
令和6年11月吉日
ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校
校長 毛利 慎治



合唱コンクール「青春の1ページ」から未来を切り拓く力を学ぶ

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校 校長 毛利 慎治

11月を迎え、秋の深まりを少しずつ感じる日が続いております。先日行われた、令和6年度合唱コンクールでは10月半ばには異例である夏日の中で開催された文字通り白熱した合唱コンクールとなりました。まさにスローガンにある「天歌夢奏 -青春の1ページ-」をそのまま体現したような生徒の熱く躍動する感動の瞬間でした。

特に三年生の皆さんが最後の合唱コンクールにかけた熱意と一体感には、聴く者すべてに深い感動を与えました。どの学年、クラスも、心を一つにして協力して取り組んだ姿、青春の輝きを目の当たりにしたことは、生徒の皆さんにとっても忘れられない思い出1ページとなりました。

合唱コンクール閉会式でもお話をしましたが、この合唱コンクールを通じて『生徒に身につけさせたい力』を明確にすること、それを繰り返し生徒に伝えることを教職員には繰り返し話をしてきました。

生徒の皆さんが身につけた力は単なる達成感にとどまらず、これからの未来に必要な「力」です。今回はこれを学ぶ貴重な機会となったと感じます。

話は変わりますが、3年生もそろそろ受験を強く意識する時期となりました。3年生に向けて『面接対策』を実施した時にもお話したのですが、現在は技術の急速な進展や気候変動への対応が求められる「VUCA（ブーカ）の時代」と呼ばれる不確実な変化の時代にあります。この変化に対応するため、経済産業省の「未来人材ビジョン」では、2050年に向けた新しい人材に求められる力として「問題発見力」「的確な予測力」「革新性」を挙げています。（詳細は二次元コードより）

30年後の話となると、イメージがしにくいと思いますが、生徒が合唱練習で培った力は、まさにこれからの時代に求められるこれらの力の土台となるのではないのでしょうか。

生徒は合唱コンクールを通して、さまざまな挑戦や工夫を通じて身につけたことは作文から多く読み取ることができました。「自ら学び続ける力」「他者と協力し合う力」「問題を解決する力」「諦めずに粘り強く取り組む姿勢」等の言葉を見ることができました。

毎日ピアノの練習をしていた伴奏者、クラスの気持ちを高めようと声掛けをした指揮者や、夏休みからチームで看板作成を進めた美術部、日々の練習を積み重ねて心躍る演奏した吹奏楽部、5年ぶりの全校開催の運営に取り組んだ実行委員などと、皆さんの努力で素晴らしい合唱コンクールを終えることができました。

成功したことで満足せずに、大切なことは『自分がどのようにして身につけたのか』、そして『どのように活用すべきなのか』ではないでしょうか。

今回の合唱コンクールで得た力を、日常生活や今後の学びにどう活かしていくかを考えるきっかけにし『学び続ける力』を意識して生活することで大きく変わります。自分の成長を感じ取ることができる場面は、学びの場だけでなく、日々の学校生活や家庭生活の中にも多く存在します。その中で、自分自身の成長を実感し、次の目標に向けて歩み続けることを期待しています。

この合唱コンクールで皆さんが刻んだ「青春の1ページ」は、ただ一瞬の思い出にとどまるものではなく、これからの未来に向けた大切な経験となります。学んだ力を活かし、これからも挑戦を恐れず、未来に向かって自分自身を成長させ、一人一人が真に主人公となれるよう、これから教職員一同一丸となって教育活動を進めてまいります。

56の能力等に対する留意

2015年	2050年
注意深さ・ミスがいないと 1.14	問題発見力 1.52
責任感・誠実さ 1.13	的確な予測 1.25
信頼感・誠実さ 1.12	革新性 [※] 1.19
基本機能（読み、書き、計算、等） 1.11	的確な決定 1.12
スピード 1.10	情報収集 1.11
柔軟性 1.10	客観視 1.11
社会常識・マナー 1.10	コンピュータスキル 1.09
粘り強さ 1.09	言語スキル：口頭 1.08
基礎スキル [※] 1.09	科学・技術 1.07
意欲・積極性 1.09	柔軟性 1.07
!	!
!	!



注：重要事項「未来人材ビジョン」PDF (出典：経済産業省「未来人材ビジョン」2022年5月)

合唱コンクール、全校開催で盛大に行われました！

10月19日(土)合唱コンクールを行いました。

昨年度よりの念願であった全校生徒を参集しての開催が、とうとう実現できました。

歌や音楽が得意な生徒もいれば、そうでない生徒もいるという学級集団で、「生徒が主人公である学校」の一員、「主人公」として何ができるかを一人一人が考え、挑んだ期間でした。また季節の変わり目のためか各種感染症の心配も報じられる中、欠席を余儀なくされ、練習への焦りを禁じ得ない生徒も多くおりました。

指揮者、伴奏者、パートリーダー、そしてクラス全員と指導者とががちリスクラムを組み、金賞にこだわり抜いて練習を重ね、そして、金賞をも超える価値を皆が手にした、そんな会となりました。

参観のみなさまにも、多くご協力いただきました。「地域とともに歩む学校」として、受付や会場入り口の誘導(ドアパーソン)にはPTA学級代表の皆様と、役員様など有志でお力添えをいただきました。またPTA広報委員の皆様には練習風景、本番と、様々な角度から写真を撮っていただき、これから編集、紙面構成を行っていただきます。映像については撮影者による収録を行い、後日DVD等のご案内をいたします。これにつきましては「歌う姿に集中してきた」という声と、「その日のうちに映像とともに家族の話題にしたかった」などの声と、意見の分かれるところでした。ご意見を今後さらに整理し、次の機会に改善・反映をしていくよう考えております。

アンケートフォームはまだ開いておりますので、ご意見やご感想、お知恵をいただければ幸いです。→
いくつかをご紹介します。



(練習期間の生徒の声)

○5年ぶりの全校開催となった合唱コンクール。自分の成長のために、クラスの仲間のために、素晴らしい演奏をするために、何十時間とピアノを練習した。一音一音に込めたこの想いが伝わることを願って、今日も練習を重ねる。明日も、明後日も、本番まで…。

○僕は今マイコプラズマでほとんど練習ができていません。本番に出られるかも正直わかんなくてみんなに迷惑かけてしまっているんじゃないかと思うと毎日虚しくなります。本番までには絶対に治します。

○合唱コンクールに向けて日々練習する中、当日まで残りわずかとなり、ますます奮闘する様子が見られます。今思えば、練習初日から格段と成長したクラスの仕上がりを感じています。歌声や合唱のレベルはもちろんのこと、クラスの団結力も向上しているようにも感じます。運動会に引き続き、全員が同じゴールを目指して意気投合できる行事は本当にいいなと思っています。仲間のために自分から行動できる人々が集うクラスは、どのクラスであれ最高だと私は思います。ラストパートも、このまま全力で頑張っていきたいです。



(本番を終えての生徒の声)

『合唱コンクールの振り返り』

ぼくはこの合唱コンクールを通して最も心に残ったことは本番でしっかりと練習して、改善したことを発揮する大切さについてです。

今回、クラスの課題曲が「時の旅人」で自由曲が「手紙～拝啓十五の君へ～」でしたが、もちろん歌う時には工夫が必要なので、合唱コン実委の人たちが呼びかけをしてくれました。例えば時の旅人は声の大きさが変化する部分が多いのでそのようなところの強弱をしっかりと意識して歌うということや、手紙では音が上がるところの一部では「ー」ではなく「あー」と発音するということや、ここの部分はテノール強調させたいから他のパートは声を少し小さくするといった工夫を合唱コン実委の人たちが呼びかけてくれたことで良い曲へと変わっていったと思います。

そして、そのような歌を発揮しようと1回目のリハーサルで歌いましたが、緊張と、間違えてしまいそうな不安とで通常よりも全く声が出ていませんでした。また、練習で呼び掛けられた改善点なども発揮することもできずリハーサルが終わってしまいました。

自分はリハーサルが終わった後、このようなことは絶対に本番であってはいけないことだと受け止めて、今までより一層工夫を理解し、声を出すことを意識しました。

そして本番となり、リハーサルより大勢の人がいて緊張感が増す中、練習時工夫した部分を忘れず大きな声を出して歌い切る事ができました。

この合唱コンクールの結果は銀賞でしたが、自分の達成感としては金賞でした！また社会に出てたくさんの人たちの前で喋る機会があると思うので今回のことを生かして行きたいと思います。



(ご参観いただいた皆様の声)

○生徒の皆さんが、とても堂々として落ち着いており、集中して拝聴できました。

生徒の皆さんが、ここまでに至る道のりが見えたような合唱でした。大変、感動させてもらえました。

○感動しました。歌声が澄んでいて、強弱もあり、中学生とは思えない完成度でした。

○コロナ前のような合唱コンクールに戻ってきたように思いました。以前のような賑やかさを三年最後に楽しむことができ嬉しかったです。皆が一丸となって一生懸命に行事に取り組み、それをサポートし見守る先生方の姿にも温かい気持ちになりました。

○5年ぶりの全学年合同開催ということでしたが、混乱、渋滞等なくとてもスムーズだったと思います。

事前の準備がしっかりとなされていた事の結果と思い感謝致します。三年生ともなると、声の質も変わりとても迫力のある演奏でした。一年生の頃のあどけなさを思い出し、成長を感じました。

受験など多感な年頃と思いますが、皆で一つのことに向かい試行錯誤している姿、当日の成し遂げようとする姿に感動しました。楽しい時をありがとうございました。

○校長先生のお言葉通り、心が動く、素晴らしい合唱コンクールでした。先輩方が中心となって、終始一生懸命、且つのびのびと、その場を楽しむ雰囲気をつくり上げていることに感動しました。この日のために、全力で頑張ってきたからこそその一体感だと感じました。ぜひ、今後もこの流れを引き継いでいってほしいと願っています。用賀中に入學できて良かった、と実感できた一日でした。

ご尽力いただきました先生方や保護者のみなさまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

○とても楽しく鑑賞出来ました、ありがとうございます。

全校生徒同時の開催で、人数が多くどうなるのかなと思っていましたが、その分盛り上がっていてとても良かったです。最後の成績発表時のドラムロールとMCがとても上手で、最後まで感心しきりでした。

○それほど練習時間がたくさんあったわけではないと思うのですが、どのクラスもとても完成度高く仕上げられていて驚きました。

男子は特に、声が出にくかったり恥ずかしがったりする年頃だと思うのですが、どの子も本当に一生懸命参加していて、終始感動しておりました。

また用賀中学校の生徒たち、および生徒と先生方の仲の良さ・関係性の良さも感じられるイベントで、参加して本当によかったと思います。ありがとうございました。

○今回は動画を撮る必要がなかったので、歌に集中できました。

息子からはバスの声が出てないと言われる、音程が違っていると言われるなどと聞いていたのですが、本番は各パートの音量、声質が揃っていてバランス良く曲がまとまっておびびっくりしました。大地讃頌、カンターレの2曲とも心地良く聴くことができました。先生方にご指導いただき、クラスのみんなで諦めずに試行錯誤したら結果が金賞に繋がったんだと思いました。

どのクラスも一生懸命で、楽しめているのが伝わってきました。中学生に負けないよう大人も頑張らねばと思いました。

○少し恥じらいは見えるものの、一生懸命合唱する姿にゾーンとくるものがありました。思春期の子供たちが行事に一丸となって取り組める環境やご指導には、感謝してもしきれません。

○今回は全学年が合同で行うことができ良かったと思います。校長先生が仰っていたように上級生の合唱を聞くことで次年度に向けて意気込みができたのではないかと思います。また担任の先生方が合唱コンクールを通して生徒にどう成長して欲しいかを明確にし、伝えたことでクラスの個性がより強くなりまとまりができていたように思います。今回は個人での撮影をしないことになっていましたが、落ち着いて観られたので良かったと思います。教職員の皆様ありがとうございました。

○思春期の子供達が生徒が一生懸命歌っている姿に感動しました。表彰式では、喜ぶ顔・残念そうな顔、様々でしたが、みんなクラス一丸となって取り組んできたんだということが伝わってきました。



・・・ほかにも大変多くの方よりお声をいただきました。ありがとうございました。

区陸、練習の成果を大いに発揮しました。

10月3日(木)には、区陸(世田谷区立中学校陸上競技大会)が行われました。

練習を重ね、大きなけがもなく、大変よい活躍をしました。選手の声をご紹介します。

○結果は思ったようにいかなかったけど、区陸の練習では、みんなと楽しく練習できて楽しかったです。

また、来年の区陸にも出場したいです。

○とても楽しかったです。けれど、入賞できなくてとても悔しかったので、来年も出たいです。

○僕は区陸の選手、用賀中学校の代表として区陸に臨みましたが、自分の思うような走りはできませんでした。リレーでも組では三位でしたが全体で入賞に食い込むことはできず悔しい思いをしました。

今、僕は体調を崩していて冬季練習が積めない状態なので、回復したらしっかり自分を追い込んで、来年の区陸、部活の大会などで結果を残していきたいです。

○僕は、この区陸でいろいろなことを学びました。

自分は長距離走に出ていたんで、他校の速い選手たちと一緒に走って、自分はまだまだなんだと思ったので、来年の区陸で入賞を目指して日々トレーニングし、来年の区陸に臨みたいです。

自分は1人だけ長距離走で区陸へ出たので、不安や、どうやってトレーニングしたら良いか分からなかったけど区陸へ出ない陸上部の先輩や、先生方にトレーニングや息継ぎの仕方について学び、それを実践で活かすことができました。来年は同じ学年の仲間と先輩と練習に励み区陸へ臨みたいと思います。



各部活動も精励、今は新人戦などのシーズンです。

各部活動でも試合や大会が行われています。今回はバレーボール部の都大会第7位の成果をご紹介します。

○目標としていた関東大会出場には、残念ながら、あと1勝届くことが出来ませんでした。

しかし、都大会で7位という用賀中史上初の結果を残すことが出来ました。

バレー部での結果は、生徒の力だけでは生まれませんでした。僕達のために熱い指導をして頂いた鳴島先生、コーチ、そして、僕達をいつも側で支えてくれた保護者の方々のお陰です。

これからも、感謝の気持ちを忘れずに残りの中学校生活を過ごしていきたいです。



11月の主な行事などです。(1日(金)は、新入生保護者説明会を行いました)

11/3(日) YCCフェスティバル(用賀中内各所で開催)ボランティアも実施。遊びに来てくださいね!

11/9(土) 土曜授業日。防災講演会(参観可)防災士:菊池顕太郎様よりお話いただきます。

11/14~18 期末考査 11/17(日) 避難所運営会議(晴天なら防災トイレなど設置訓練)

YCCフェスティバル、防災講演会は、地域の皆様もご参観いただけます。こちらでお知らせください→

連絡、感想の入口

